

調査要項

1 調査趣旨

この調査は、商工会地域の企業活動状況を把握するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構の委託を受け全国商工会連合会が実施するもので、本会はこれら貴重な景況情報を「山口県商工会地域中小企業景況調査報告書」としてまとめ、商工会の経営改善普及事業の効果的実施に資することを目的とする。（年4回発行）

2 調査対象地区及び対象企業等

- (1) 全国商工会連合会により指定された582地区の商工会のうち、山口県は10商工会150企業を調査対象として指定する。
- (2) 調査対象区域は地域人口等に配慮し、県東部・中部・西部・北部地域の商工会とし、製造業及び建設業は従業員20名以下、小売業及びサービス業は従業員5名以下の企業規模を対象とする。
- (3) 調査対象企業は、1商工会地域につき15企業とし、業種は製造業、建設業、小売業及びサービス業（サービス業は飲食店、宿泊業、洗濯業、理美容その他のサービス）の4種類とする。

3 調査対象期間及び調査時点等

- ・調査対象期間及び調査内容は2019年10－12月期における前期及び前年同期に対する景況感（現況）と来期（2020年1－3月期）における景況見通しを調査した。
- ・調査は2019年11月7日から11月15日の期間に実施した。
- ・調査方法は商工会経営指導員による聴き取りでおこなった。

4 回答企業数内訳

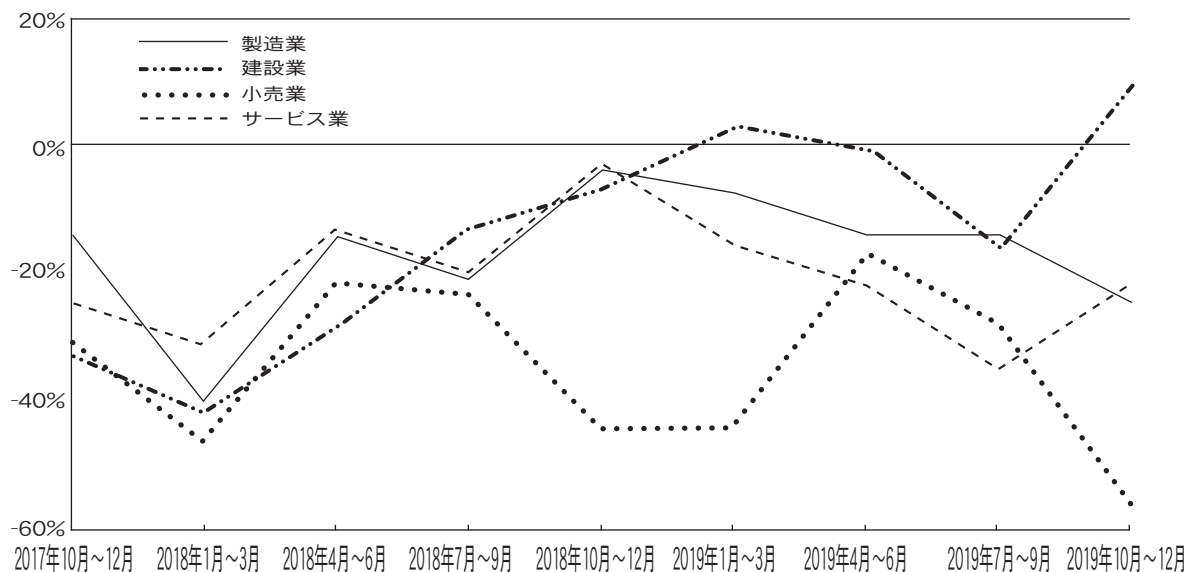
業種	対象企業	構成比	回答企業	回答
製造業	29	19.3%	29	100.0%
建設業	32	21.4%	32	100.0%
小売業	43	28.7%	43	100.0%
サービス業	46	30.6%	46	100.0%
合計	150	100.0%	150	—

5 業況判断指標

景況を示す業況判断指標は、Diffusion Index(DI)を用いた。DIは、前年同期（基準）に対する変化の方向については、上昇(好転)とする回答割合から低下(悪化)とする回答割合を差引いた数値で、「変化の趨勢を示す指標」として用いられている。※DIがプラスの場合は「強気・楽観」傾向つまり上昇機運にあるとされ、マイナスの場合は「弱気・悲観」傾向つまり低下機運にあるとされている。また、プラス・マイナスが同数(DIゼロ)の場合は変化がないことを示す。

1 山口県 全産業

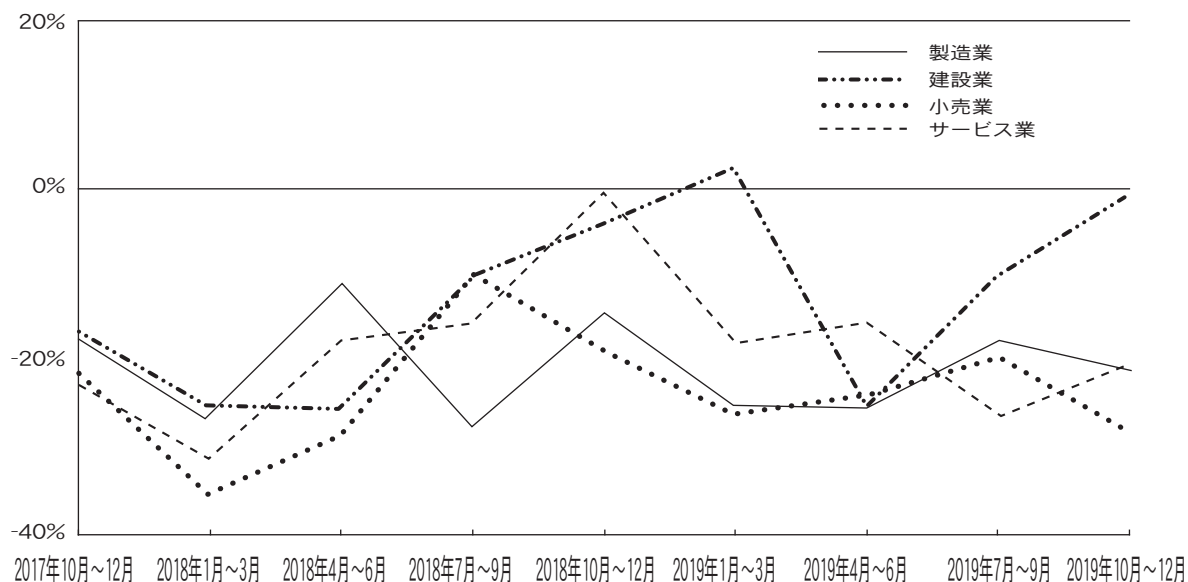
1 売上（完成工事）額の推移－前年同期比－



D I 値 製造業－24.2(前期は－13.8、前年同期は－3.4)、建設業 9.7(前期は－16.1、前年同期は－6.4)、小売業－55.8(前期は－27.9、前年同期は－44.2)、サービス業－21.7(前期は－34.7、前年同期は－2.2)

業況D I 値 製造業－24.2(前期は－13.8、前年同期は－24.1)、建設業 9.4(前期は－9.4、前年同期は 3.3)、小売業－26.2(前期は－23.2、前年同期は－31.0)、サービス業－22.2(前期は－23.9、前年同期は－11.1)

2 採算の推移－前年同期比－

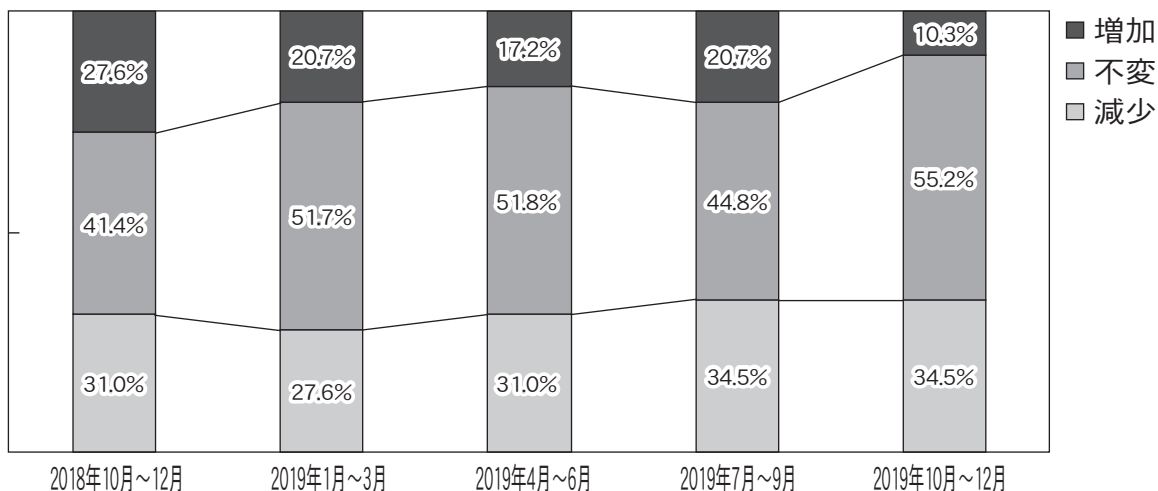


D I 値 製造業－20.7(前期は－17.3、前年同期は－13.8)、建設業 0.0(前期－9.4、前年同期は－3.2)、小売業－27.9(前期は－19.1、前年同期は－18.6)、サービス業－20.0(前期は－26.1、前年同期は 0.0)

資金繰りD I 値 製造業－17.2(前期は－13.8、前年同期は－20.7)、建設業 0.0(前期－12.5、前年同期は 0.0)、小売業－14.3(前期は－11.9、前年同期は－21.4)、サービス業－11.1(前期は－24.0、前年同期は－4.4)

2 山口県 製造業

1 売上額の状況－前年同期比－

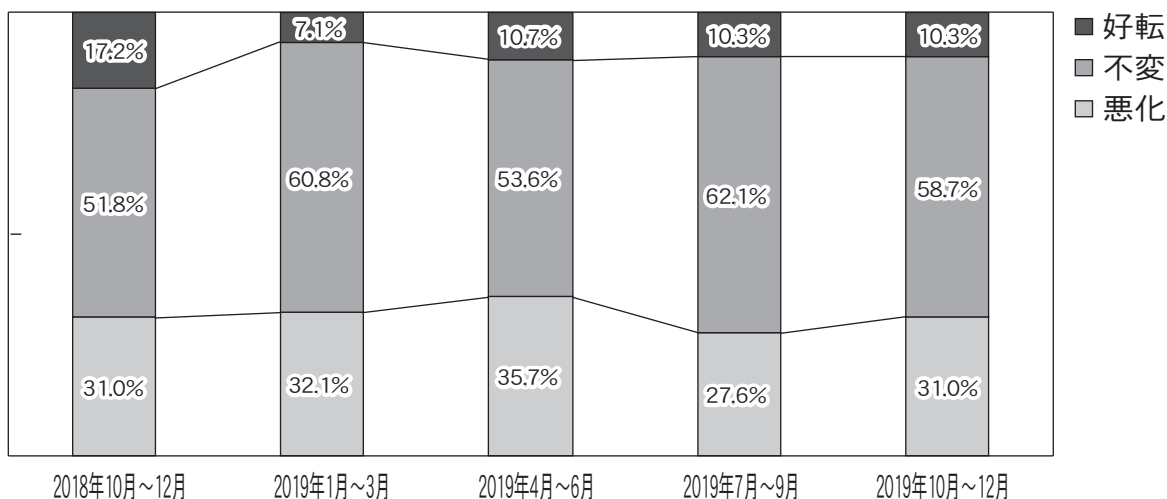


前期と比較 「増加」27.6%（前期は 20.7%、前年同期は 24.1%）、「不変」44.8%（前期は 48.3%、前年同期は 44.9%）、「減少」27.6%（前期は 31.0%、前年同期は 31.0%）

来期見通し 「好転」6.9%（前期は 10.3%、前年同期は 27.6%）、「不変」69.0%（前期は 62.1%、前年同期は 48.3%）、「悪化」24.1%（前期は 27.6%、前年同期は 24.1%）

その他のD I 値 原材料在庫数量 0.0（前期は -10.7、前年同期は -10.4）、製品在庫数量 -3.6（前期は -10.7、前年同期は -7.1）、売上単価 6.9（前期は 10.8、前年同期は 0.0）、売上数量 -24.2（前期は -14.2、前年同期は -6.9）

2 採算の状況－前年同期比－

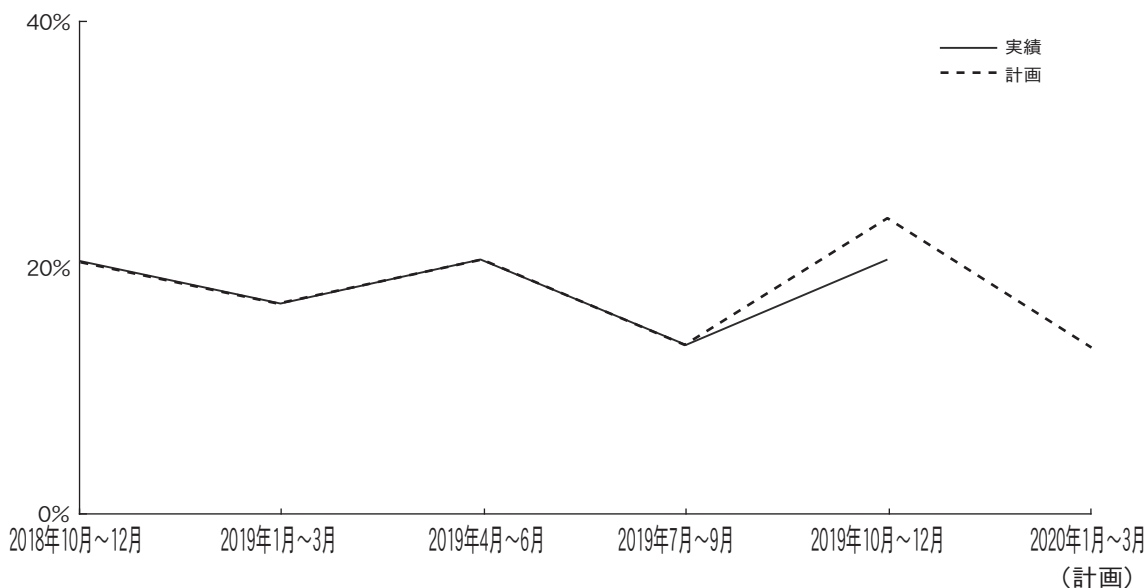


来期見通し 「好転」6.9%（前期は 10.3%、前年同期は 17.2%）、「不変」72.4%（前期は 62.1%、前年同期は 58.7%）、「悪化」20.7%（前期は 27.6%、前年同期は 24.1%）

資金繰り 前期と比較で、「好転」3.4%（前期は 6.9%、前年同期は 3.4%）、「不変」86.3%（前期は 82.8%、前年同期は 79.4%）、「悪化」10.3%（前期は 10.3%、前年同期は 17.2%）

来期見通しは、「好転」6.9%（前期は 3.4%、前年同期は 13.8%）、「不変」82.8%（前期は 79.4%、前年同期は 72.4%）、「悪化」10.3%（前期は 17.2%、前年同期は 13.8%）

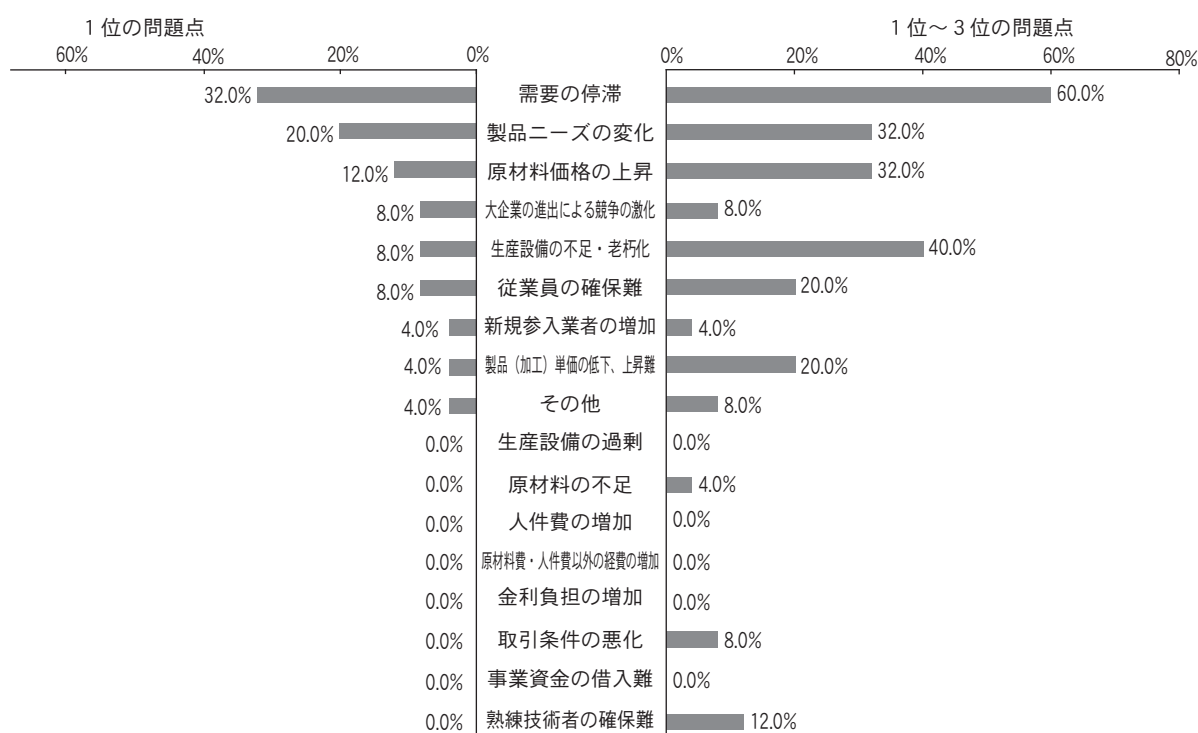
3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業6社(工場建物1、生産設備2、車両・運搬具1、O A機器1、その他1)、実施しなかった企業23社。来期に設備投資を予定している企業4社(生産設備3、O A機器1)、予定していない企業25社。

設備操業率D I値は、-10.7(前期は-17.9、前年同期は-11.1)

4 経営上の問題点の状況 (1位と1~3位)

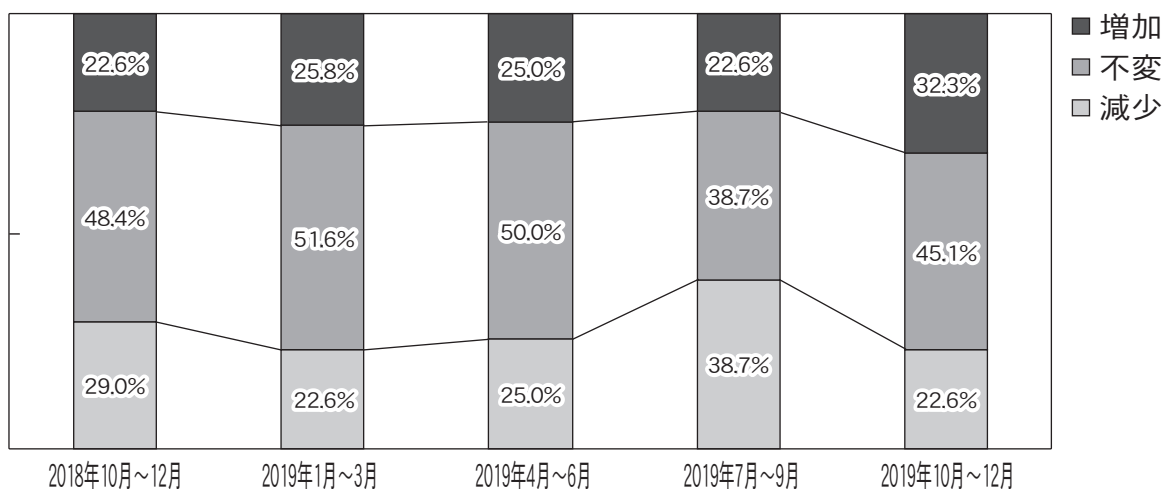


「原材料費・人件費以外の経費の増加」・「生産設備の不足・老朽化」の割合が減少し、「熟練技術者の確保難」・「新規参入業者の増加」が上昇した。

借入金利 前期と比較で、「好転」3.7%(前期0.0%、前年同期は3.8%)、「不変」96.3%(前期は100.0%、前年同期は96.2%)、「悪化」0.0%(前期は0.0%、前年同期は0.0%)

3 山口県 建設業

1 完成工事額の状況－前年同期比－

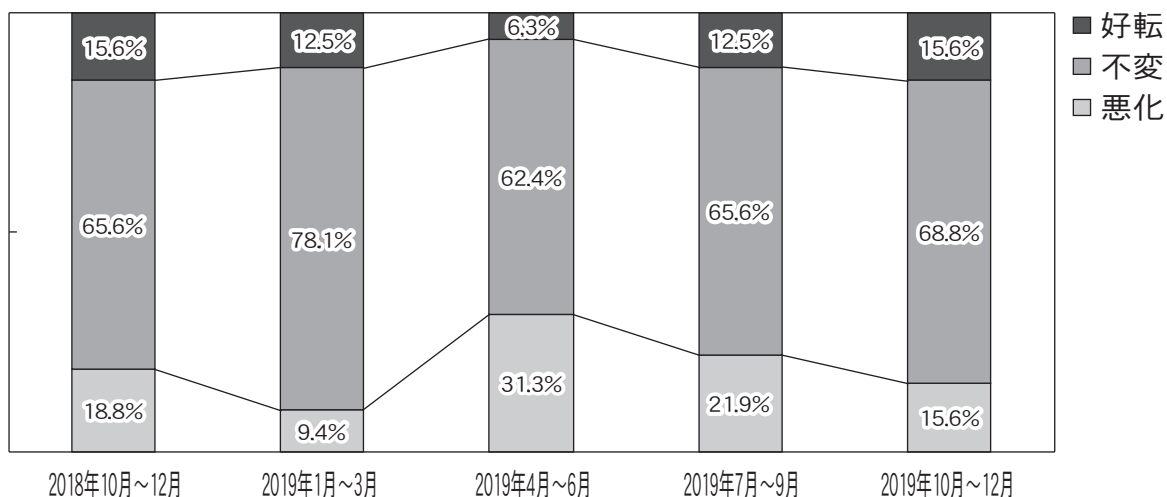


前期と比較 「増加」32.3% (前期は 13.3%、前年同期は 31.3%)、「不変」45.1% (前期は 60.0%、前年同期は 53.1%)、「減少」22.6% (前期は 26.7%、前年同期は 15.6%)

来期見通し 「好転」16.1% (前期は 15.6%、前年同期は 15.6%)、「不変」61.3% (前期は 56.3%、前年同期は 46.9%)、「悪化」22.6% (前期は 28.1%、前年同期は 37.5%)

その他のD I 値 新規契約工事額-6.3 (前期は-6.2、前年同期は-6.2)、材料仕入単価 40.0 (前期は 23.3、前年同期は 32.3)

2 採算の状況－前年同期比－

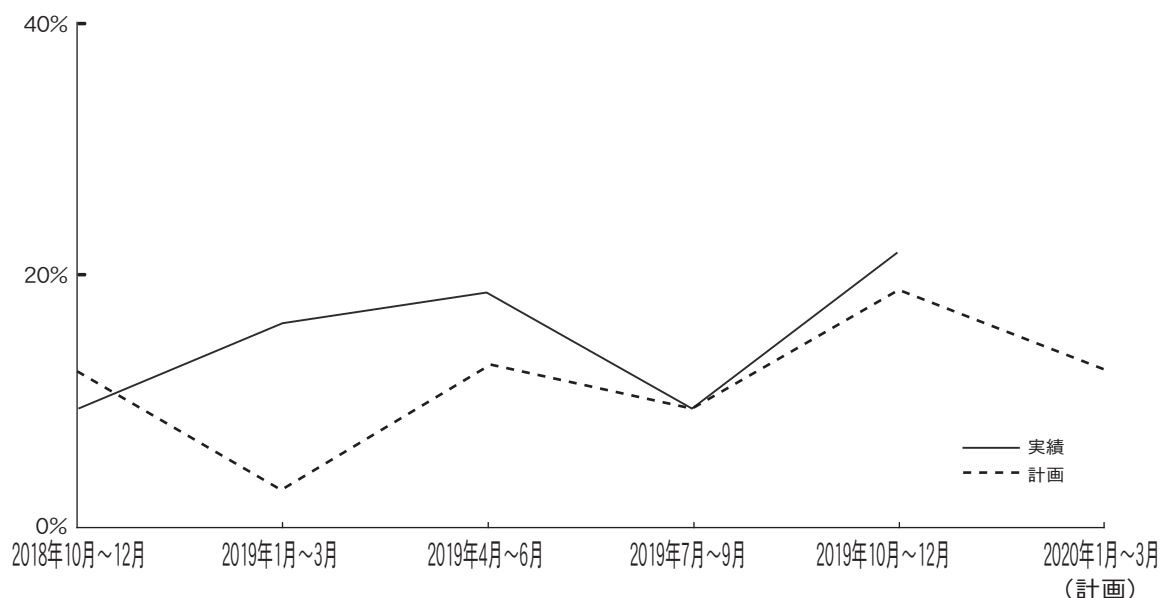


来期見通し 「好転」6.3% (前期は 3.1%、前年同期は 9.7%)、「不変」74.9% (前期は 78.1%、前年同期は 58.0%)、「悪化」18.8% (前期は 18.8%、前年同期は 32.3%)

資金繰り 前期と比較で、「好転」16.1% (前期は 6.5%、前年同期は 18.8%)、「不変」71.0% (前期は 77.4%、前年同期は 71.8%)、「悪化」12.9% (前期は 16.1%、前年同期は 9.4%)

来期見通しは、「好転」9.4% (前期は 6.3%、前年同期は 15.6%)、「不変」71.8% (前期は 71.8%、前年同期は 62.5%)、「悪化」18.8% (前期は 21.9%、前年同期は 21.9%)

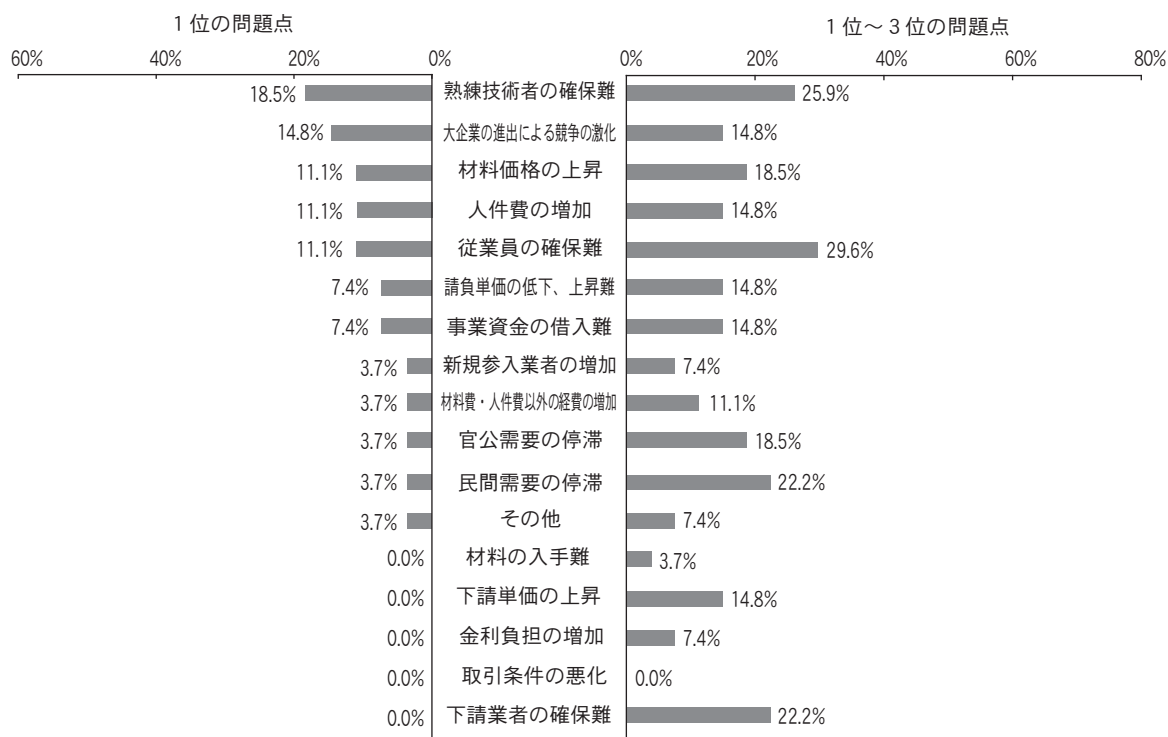
3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業7社(建物1、建設機械2、車両・運搬具2、OA 機器2)、実施しなかった企業25社。来期に設備投資を予定している企業4社(建設機械1、土地1、その他2)、予定していない企業28社。

引合いD I 値 0.0 (前期は-10.3、前年同期は-13.8)

4 経営上の問題点の状況 (1位と1位~3位)

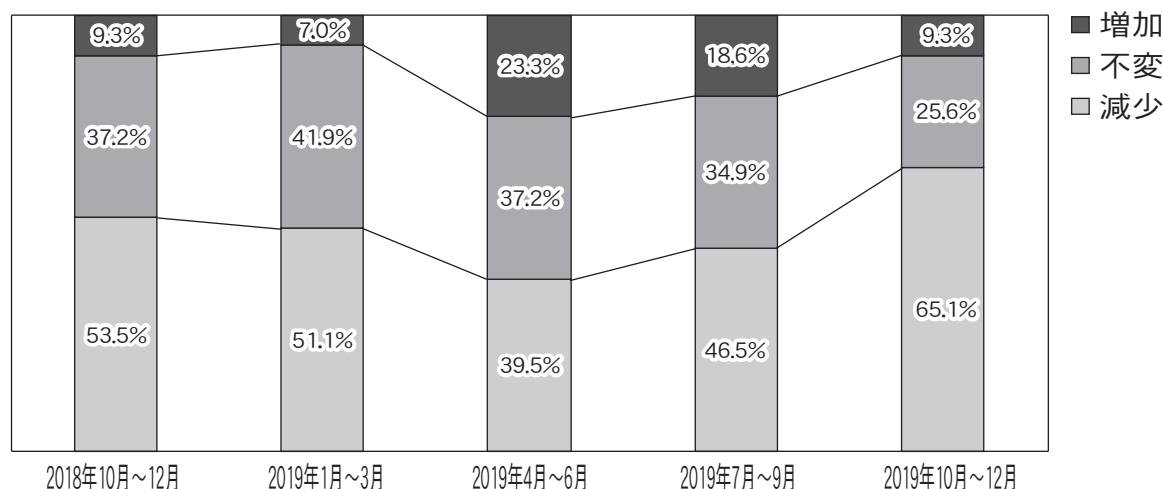


「従業員数の確保難」・「材料価格の上昇」の割合が減少し、「熟練技術者の確保難」「大企業の進出による競争の激化」が上昇した。

借入金利 前期と比較で、「好転」3.7% (前期は0.0%、前年同期は7.4%)、「不変」96.3% (前期は92.3%、前年同期は85.2%)、「悪化」0.0% (前期は7.7%、前年同期は7.4%)

4 山口県 小売業

1 売上額の状況－前年同期比－

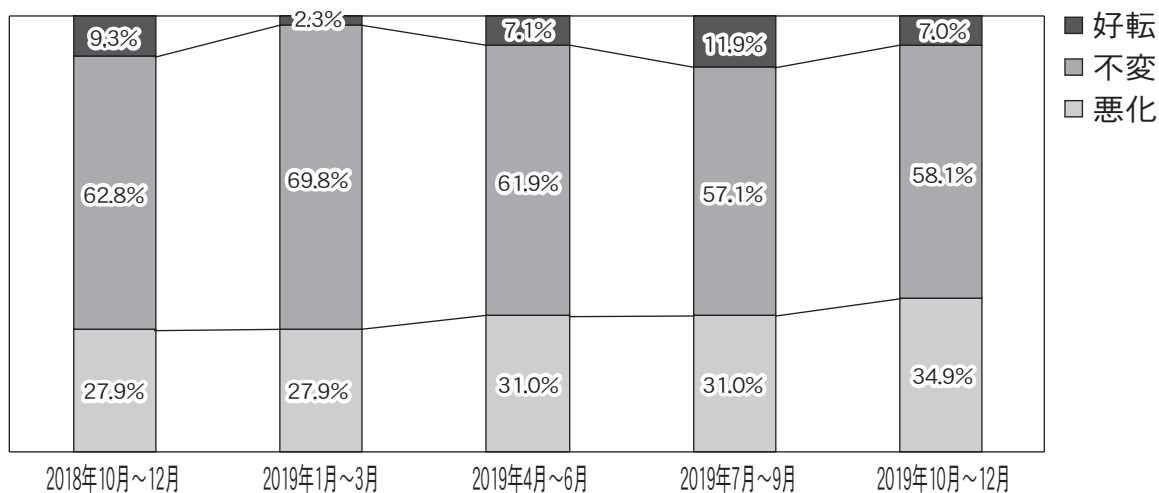


前期と比較 「増加」20.9%（前期は 20.9%、前年同期は 19.0%）、「不変」18.6%（前期は 30.2%、前年同期 35.7%）、「減少」60.5%（前期は 48.9%、前年同期は 45.3%）

来期見通し 「好転」7.0%（前期は 20.9%、前年同期は 11.6%）、「不変」51.1%（前期は 37.2%、前年同期は 51.2%）、「悪化 41.9%（前期は 41.9%、前年同期は 37.2%）

その他のD I 値 客単価－34.9（前期は－18.6、前年同期は－16.3）、客数－51.2（前期は－34.9、前年同期－41.8）、商品仕入単価－7.0（前期は 0.0、前年同期は 9.3）

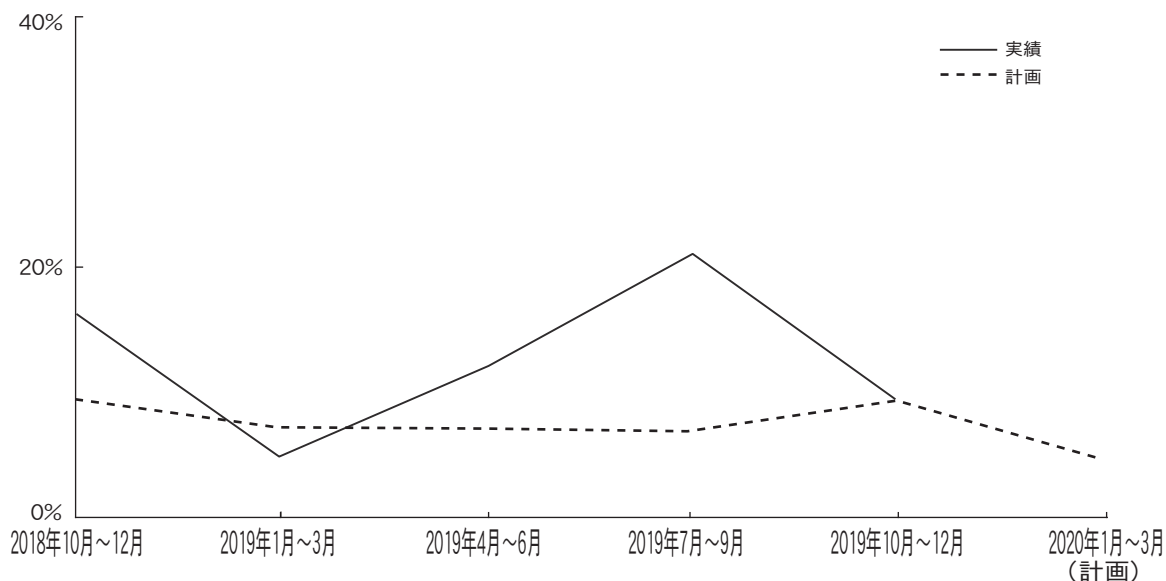
2 採算の状況－前年同期比－



来期見通し 「好転」4.8%（前期は 2.4%、前年同期は 9.5%）、「不変」64.2%（前期は 61.9%、前年同期は 71.5%）、「悪化」31.0%（前期は 35.7%、前年同期は 19.0%）

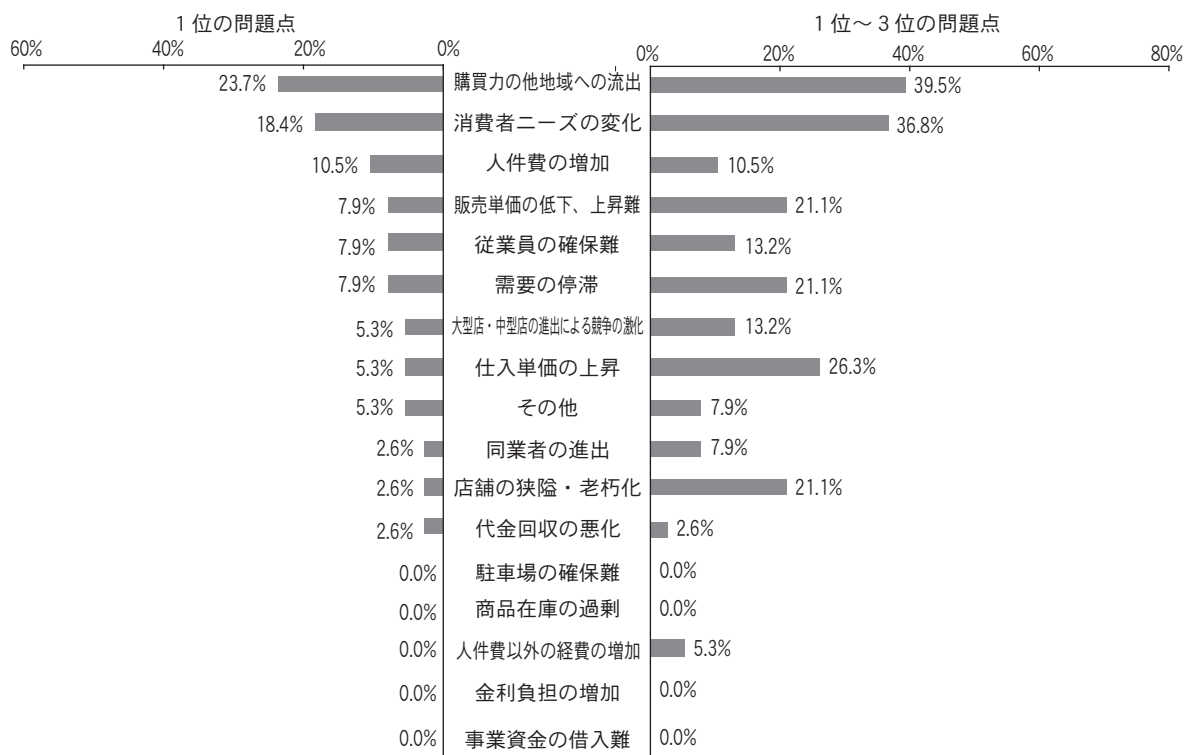
資金繰り 前期と比較で、「好転」7.1%（前期は 4.9%、前年同期は 4.7%）、「不変」76.2%（前期は 70.7%、前年同期は 74.4%）、「悪化」16.7%（前期は 24.4%、前年同期は 20.9%）
来期見通しは、「好転」2.4%（前期は 0.0%、前年同期は 0.0%）、「不変」73.8%（前期は 76.2%、前年同期は 83.3%）、「悪化」23.8%（前期は 23.8%、前年同期は 16.7%）

3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業4社（販売設備2、その他2）、実施しなかった企業39社。来期に設備投資を予定している企業2社（OA 機器1、その他1）、予定していない企業41社。

4 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）

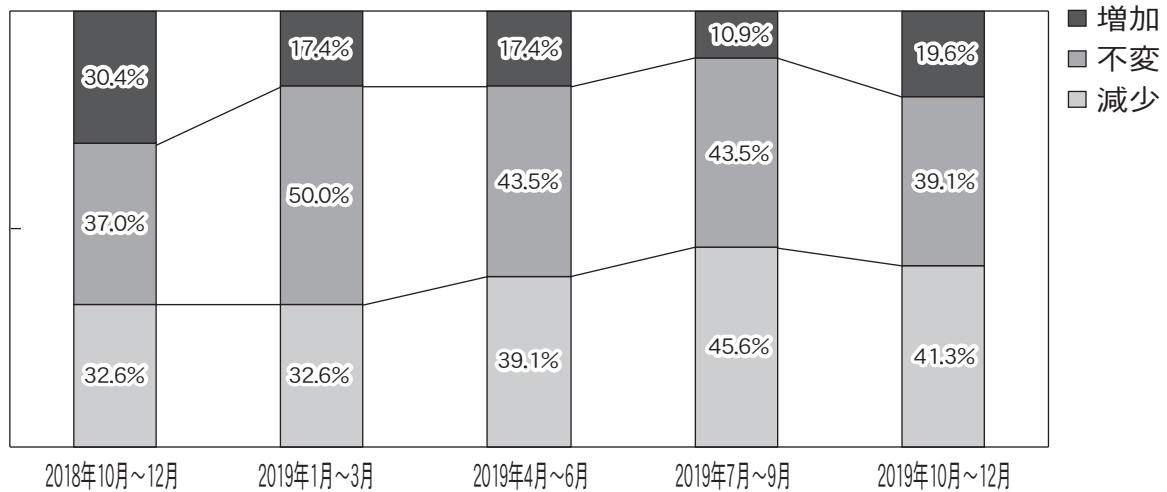


「大型店・中型店の進出による競争の激化」・「購買力の他地域への流出」の割合が減少し、「消費者ニーズの変化」・「人件費の増加」が上昇した。

借入金利 前期と比較で、「好転」12.9%（前期は9.7%、前年同期は0.0%）、「不変」77.4%（前期は87.1%、前年同期は100.0%）、「悪化」9.7%（前期は3.2%、前年同期は0.0%）

5 山口県 サービス業

1 売上額の状況－前年同期比－

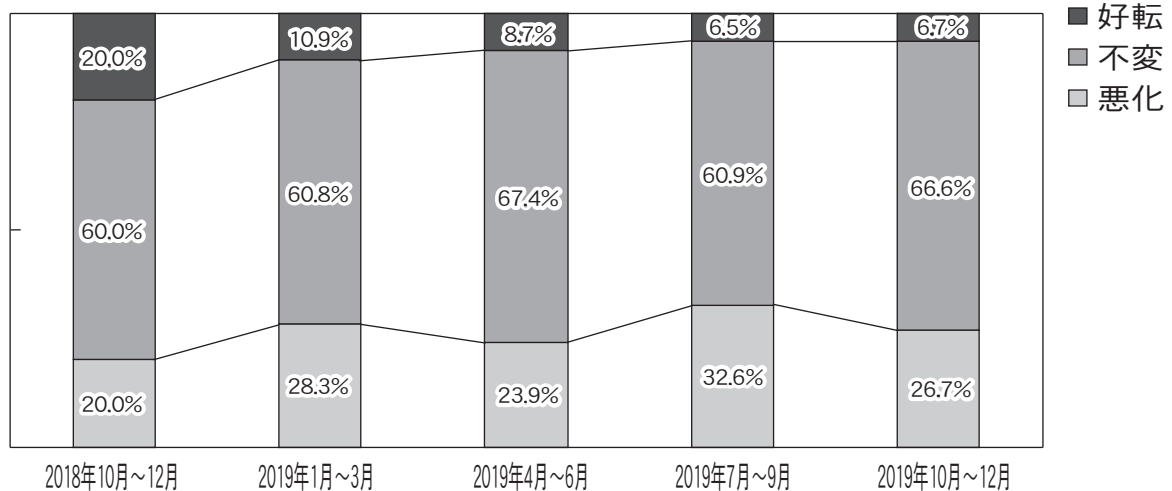


前期と比較 「増加」23.9%（前期は 20.0%、前年同期は 27.3%）、「不変」32.6%（前期は 42.2%、前年同期は 45.4%）、「減少」43.5%（前期は 37.8%、前年同期は 27.3%）

来期見通し 「好転」13.0%（前期は 13.0%、前年同期は 13.6%）、「不変」54.4%（前期は 63.1%、前年同期は 63.7%）、「悪化」32.6%（前期は 23.9%、前年同期は 22.7%）

その他のD I 値 客単価－10.9（前期は－13.1、前年同期は－4.3）、利用客数－11.1（前期は－41.2、前年同期は 6.5）

2 採算の状況－前年同期比－

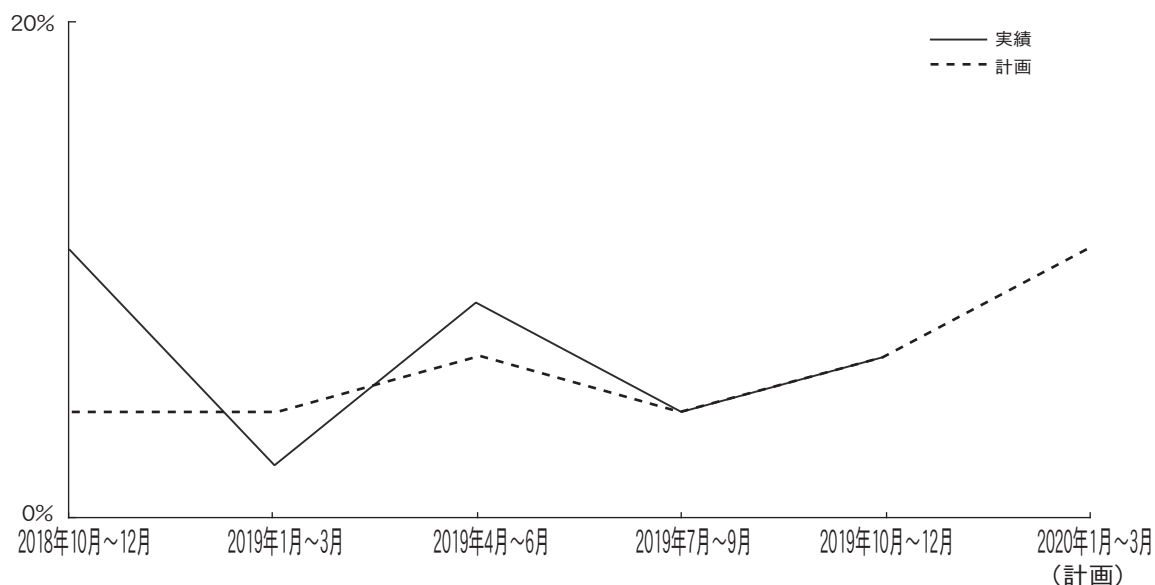


来期見通し 「好転」6.7%（前期は 11.1%、前年同期は 8.7%）、「不変」60.0%（前期は 66.7%、前年同期は 73.9%）、「悪化」33.3%（前期は 22.2%、前年同期は 17.4%）

資金繰り 前期と比較で、「好転」6.8%（前期は 0.0%、前年同期は 4.5%）、「不変」70.5%（前期は 77.8%、前年同期は 84.1%）、「悪化」22.7%（前期は 22.2%、前年同期は 11.4%）

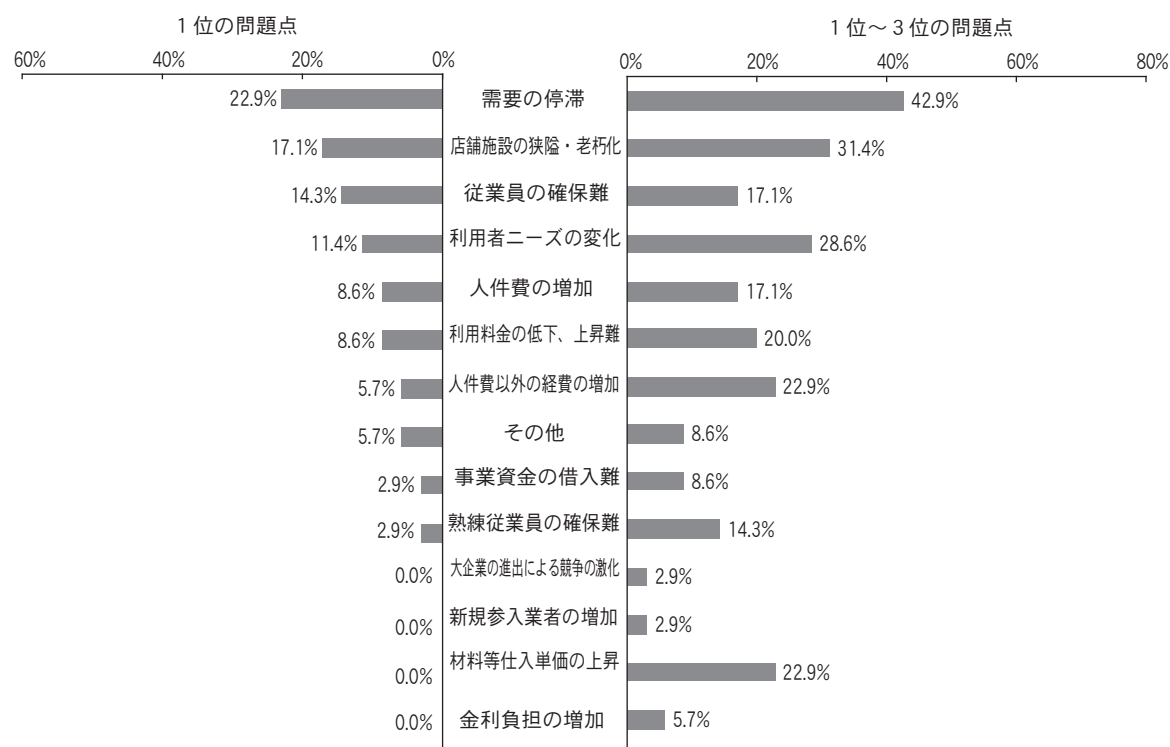
来期見通しは、「好転」8.9%（前期は 8.7%、前年同期は 4.5%）、「不変」68.9%（前期は 71.7%、前年同期は 81.9%）、「悪化」22.2%（前期は 19.6%、前年同期は 13.6%）

3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業3社(建物1、サービス1、OA機器1)、実施しなかった企業43社。来期に設備投資を予定している企業5社(建物2、付帯施設1、サービス1、その他1)、予定していない企業41社。

4 経営上の問題点の状況 (1位と1位~3位)

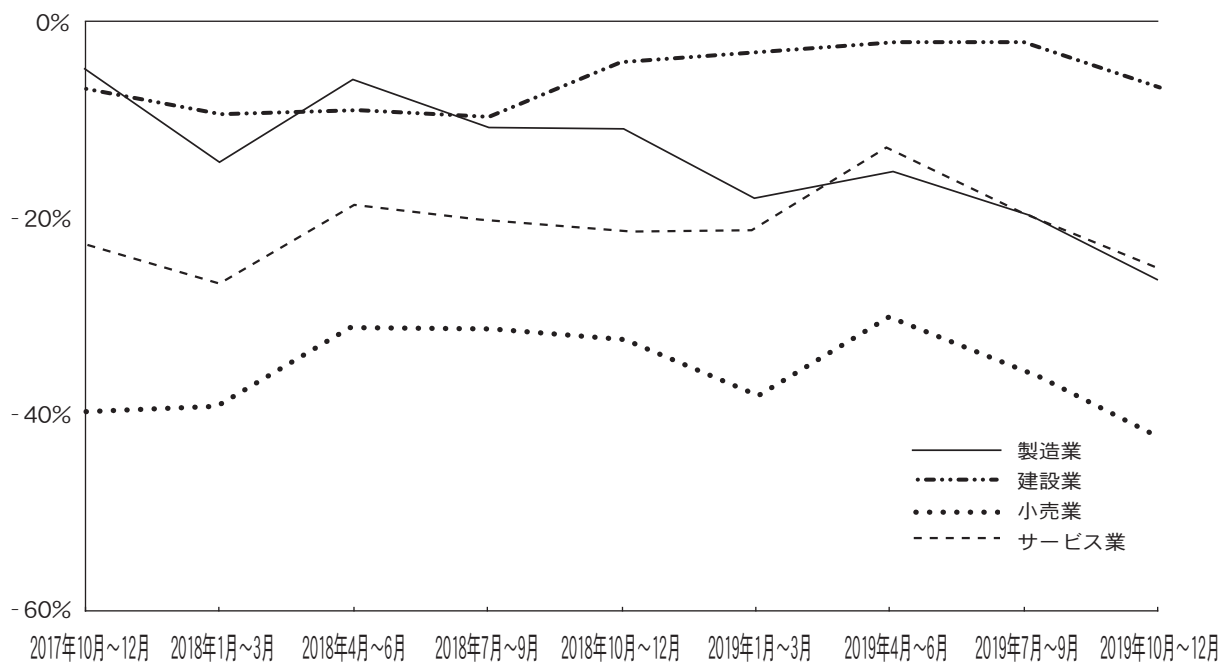


「材料等仕入単価の上昇」・「人件費の増加」の割合が減少し、「店舗施設の狭隘・老朽化」・「利用料金の低下、上昇難」が上昇した。

借入金利 前期と比較で、「好転」6.3% (前期は 3.2%、前年同期は 0.0%)、「不変」93.7% (前期は 90.3%、前年同期は 93.7%)、「悪化」0.0% (前期は 6.5%、前年同期は 6.3%)

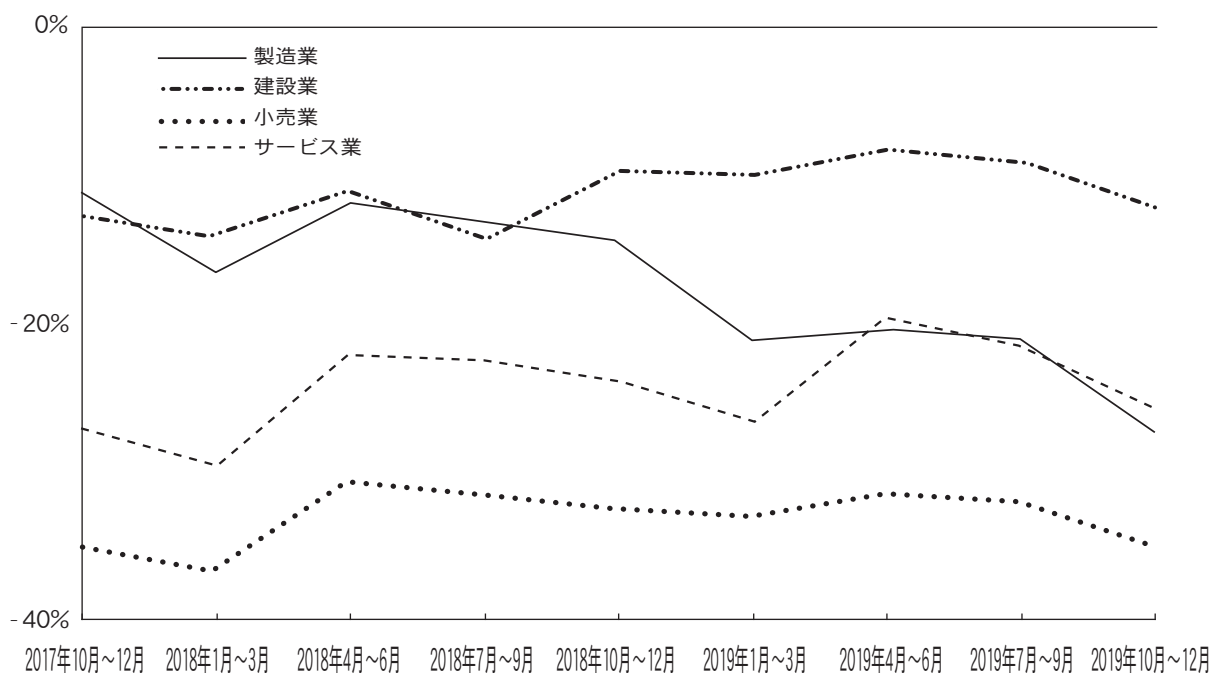
6 全国 全産業

1 売上（完成工事）額の推移－前年同期比－



DI値 製造業－26.4(前期は－19.8、前年同期は－10.9)、建設業－6.4(前期は－2.3、前年同期は－4.0)、小売業－42.1(前期は－35.4、前年同期は－32.2)、サービス業－25.2(前期は－19.6、前年同期は－21.1)

2 採算の推移－前年同期比－



DI値 製造業－27.4(前期は－21.2、前年同期は－14.6)、建設業－12.2(前期は－9.1、前年同期は－9.9)、小売業－35.2(前期は－32.0、前年同期は－32.5)、サービス業－25.7(前期は－21.4、前年同期は－23.9)

7 山口県 調査対象企業の声

■製造業■

- パソコンの更新、社内LED化対応、生産設備の更新にかなりの時間と労力、費用を費やした。利益分を設備投資に回さなければいけないので、利益率を向上させて社員に十分に還元させられるようにさらに努力したい。
- 日立関連の仕事量が、6～8月若干持ち直しつつあったが、9月はまた落ち込んだ。10月までの売上高は、前年比87.7%と大幅に減少している。
- 子どもの声が聞こえる時代。レトルトに押される時代。誰もが手を掛けて、作る食事が来るといいです。
- 10月より消費税10%の導入になったが、大きな変化はないが、材料の価格上昇さらに消費税10%は辛い。設備の老朽化に対応しなければいけないが、なかなか大変である。人材の確保もシルバーとなると難しい。
- 人材の確保難が依然として継続している。中国経済がらみでの様々な影響も少しずつではあるが顕在化してきている。
- 去年はメディアに取り上げて頂いたりして、一時的に売れたが、天候も影響して今年は動きが悪い。売れる時季が決まっているので先が心配。

■建設業■

- 災害応急、復旧や防災・減災工事等、業界への需要は高まっていますが、依然として入職者は少なく、労働者の高齢化も進み、人手不足は深刻な状態です。労務単価の引上げ等、待遇の改善を望みます。
- 特に公共工事（県・市）が宇部地区ではまったく無い。
- 建設業は他の業種に比べ、保険や現場代理人の条件など厳しいと感じます。そのため新しい人を考えた時に、足踏みするので人手不足の解消につながりません。自社の場合は特にそう思います。
- 仕事量のバランスを考えて日程の計画・調整が必要ですが、進み具合で難しいと

ころがある。

- 年間を通して下請け工事をしているので、燃料費の負担が増えた。災害の工事なのでミニバックフォア等機械が必要なので、リース代も負担大なので、買いかえを考えている。
- 社員の有休（指定有休）の確保について、現場の進み具合に影響が出る。経営者ばかり多忙になると共に、経営も困難になる。
- 取引先の企業の受注の内容が安定しているので、今のところ自社の業況は安定しています。

■小売業■

- 消費税がじわじわこたえてきている。高齢者主体の当方ではキャッシュレス還元も効果薄である。プレミアム商品券は手続き困難な申請式。政治があまりに無駄な弾を撃っている印象がある。
- 増税後、他の物品をかしこく買う為に安く買う方法と、カード、キャッシュレスで買う方が増えた。対応策として導入をしている。オリジナル商品を作り、首都圏をねらう商品を作り、利益率を上げていく。
- 地区内の人口減少が著しい。
- 税率が変わる前の9月末はかけ込で売上が上昇したが、10月からは急に売上が下降した。11月12月と影響があり、次年度の1月～3月迄尾を引きそうです。
- 消費者のニーズの変化、更に高齢者生活に余裕のある年金層の減少で、生活に必要な無い品物は単価を下げて生活費に廻しており、消費者ニーズの変化が大きく売上を落しています。更に大型店の進出安売り競争で小売店の売り上げは減少の毎日です。
- 他エリアの競争激化により、販売価格の下落によって利益減少している。
- 全然ダメ、生徒数の減少、スクールバス導入、働きざかり、若者の減少、悪い条件ばかり

■サービス業■

○顧客の減少

○利用者ニーズの変化というか高年齢化に伴い、取扱い商品への興味度が薄れ、価値観の差が大きい。全体的に物の質の良さより、実用的で安価な品が人気である。

○従業員確保により、開店日が安定したので売上の上昇が見込まれる。

○消費税増税で客足が減り、客単価も減少で経営が苦しいのに最低賃金の一人1時間27円増が経営困難に。

○ヒジの手術後少しずつ仕事ができるようになってきた。

○大きな変動はないと思う。

○消費税による影響を考えていたが、別に影響はなかった。しかし過疎化が進む。

○大きな災害もなく、業楽シーズンお天気に恵まれ安定しています。消費税増税の影響も感じられず、何とかPayや政府のバラマキの御かげかもしれません。

○今期は消費税率のアップが、車両の売上に早速ひびく形になると思われる。来期以降もその影響が続くだろう。事業継続も困難になると思われる。